



【先週 2月6日～2月12日の外食の出来事】

■中村屋を書類送検 「人手不足」、不法就労助長容疑

ネパール人を工場で不法就労させたとして、警視庁組織犯罪対策1課は、入管難民法違反容疑で、食品メーカーの中村屋と、同社埼玉工場の採用担当の係長(52)を書類送検した。

■すき家のゼンショーHD、純利益 100 億円強 4～12 月

2021年4～12月期は連結最終損益が100億円強の黒字(前年同期は1億9200万円の赤字)になったことが分かった。国内ですき家が堅調だったことに加え、米国を中心に展開する持ち帰りすしチェーンの販売が好調だった。

■ロイヤルHD、最終赤字29億円の縮小 21年12月期

2021年12月期の連結最終損益が29億円の赤字になった。従来予想から21億円赤字幅が縮小する。昨秋の緊急事態宣言の解除後に、外食需要が回復したことに加え、時短協力金などの補助金の計上も寄与した。

■サンマルクホールディングス、第3四半期(2021年4月～12月)の連結業績

2022年3月期 第3四半期の連結業績は売上高 355 億 9000 万円(対前年同期比 11.3%増)、営業損失 25 億 4100 万円(-)、経常利益 25 億 8800 万円(-)、四半期純損失 38 億 4300 万円(-)であった。

■大戸屋、1月客数 28%増

既存店で客数 127.9%、客単価 99.1%で、売上高 126.8%と大きく伸ばした。店舗数は全 303 店舗、内 FC174 店舗。コロナ禍が始まった 2020 年から初めて、2021 年 10～12 月期で営業利益が 1 億 26 百万円の黒字に転換。

■カップ・クリエイト、第3四半期(2021年4月～12月)の連結業績

2022年3月期 第3四半期の連結業績は売上高 508 億 900 万円(対前年同期比 5.0%増)、営業損失 21 億 9200 万円(-)、経常損失 21 億 600 万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純利益 2800 万円(-)であった。

■サッポロHD、カフェ事業を「ベローチェ」に売却

サッポロホールディングスは10日、カフェ事業から撤退すると発表した。「カフェ・ド・クリエ」を運営する子会社、ポツカクリエイトの全株式を、「カフェ・ベローチェ」などを運営するC-Unitedに売却する。

■うかい、第3四半期(2021年4月～12月)の業績

2022年3月期 第3四半期(2021年4月～12月)の業績を発表。売上高 73 億 5200 万円(前年同期比 14.5%増)、営業損失 8 億 900 万円(-)、経常損失 2 億 4800 万円(-)、四半期純損失 2 億 7500 万円(-)であった。

■フライングガーデン、第3四半期(2021年4月～12月)の業績

2022年3月期 第3四半期の業績は売上高 48 億 6400 万円(対前年同期比 7.3%増)、営業利益 2 億 3300 万円(同 88.1%増)、経常利益 6 億円(同 295.3%増)、四半期純利益 3 億 8600 万円(同 371.0%増)と増収増益を確保。